



令和4年度

瑞宝小綬章 受章をお祝いの会 を開催しました



令和4年秋に瑞宝小綬章を受章された木実谷名誉院長のお祝いの会を令和5年5月1日に開催いたしました。本来であれば、大きな会場を貸し切って式典を催さなくてはならない程の名誉な受章ですが、「この受章は島田としていただいたので、職員の皆さんと一緒に祝いしたい」との木実谷名誉院長のご希望もあり、島田療育センターの厚生棟でお祝いの会を開催いたしました。当日は島田療育センターの62年の創立記念式が午前中に実施され、午後より厚生棟での開催となりました。

来賓の方は多摩市長をはじめ、法人の顧問、理事、評議員、監事、島田療育センター父母会の役員の方約20名、職員は各職場から参加しました。会の進行も職員で検討し、私 森久保の開会の辞の後、発起人代表の河理事長よりご挨拶があり、続いて来賓のご挨拶を多摩市長阿部裕行様、元理事長の山川様より頂きました。感謝の言葉として島田療育センター父母会会長の佐渡様よ

りお言葉を頂き、父母会からの花束贈呈となりました。木実谷名誉院長が島田療育センターに就任されてからのあゆみをビデオに纏め、皆さんで視聴しました。最後に木実谷名誉院長からの謝辞があり久保田院長の閉会の辞と共に会は閉会しました。集まった職員と章を囲んでの記念撮影は木実谷名誉院長が職員の皆さんと一緒に祝いしたいという言葉そのものになった風景でした。すべてが職員の手作りで行いましたが、島田療育センターらしさがあってとても温かい会となりました。私達も62年を迎えた島田療育センターで木実谷名誉院長の受章を励みにこれからも頑張っていきたいと誓う1日になりました。

(事務部長兼支援部長 森久保 真由美)



会場となった当センター厚生棟



父母会から花束の贈呈



お祝い映像の上映



瑞宝小綬章の展示

第62回

創立記念式典 を実施しました

5月1日(月)、3階研修室にて第62回創立記念式典が行われ、外部からは父母会会長と副会長が参加されました。理事長・院長のご挨拶のあと、昨年亡くなられた3名の利用者様の名前が呼ばれ、参加者で献花を捧げました。

今年の永年勤続者は、30年表彰者が9名、20年表彰者が9名、10年表彰者が20名。そのうち代表の9名

が参加されました。式典の様子はライブ中継で、配信されました。(編集委員 田中 和恵)



多摩桜の丘学園

分教室 卒業式・入学式 を実施しました

令和5年3月23日(木)に島田分教室の卒業式が行われ、中学部1名、高等部1名が卒業証書を受け取りました。頑張った学校生活を称えた温かい拍手を受けて晴れやかな表情でした。病棟に戻ると花吹雪で迎えられ、感動的なひと時となりました。ご卒業おめでとうございます。令和5年4月10日(月)に多摩桜の丘学園の高等部入学式が行われました。分教室の卒業生1名が参加し、新しい学校生活が始まりました。スクールバスで通学します。ご入学おめでとうございます。

(島田分教室教員一同)



デイケアセンター

幼児部 卒園式・入所式 を実施しました

3月29日(水)に幼児部卒園式が行われました。コロナ禍での幼児部生活でしたが立派に成長されて小学校へ進学された5名の皆様。スライドショーでは、生まれた時から今までの様子が映し出され、みんなで成長を喜びました。小学校でのご活躍を心から願っています。

4月5日(水)に入所式が行われました。今年度は青年部1名、幼児部5名の利用者様が入所されました。ご家族の方と一緒に式へ参加され、河理事長、久保田院長、落合療育部長のお話を聞く表情は期待に満ちている様子でした。これから一緒に過ごすデイケアセンターでの生活が楽しみです。

(デイケアセンター 草場 順子)



ANA Team HND Orchestra の皆様による

スペシャルコンサート を実施しました

5月13日(土)、羽田空港の演奏者と病棟をオンラインで結んだコンサートが開催されました。Zoomでお互いが声を掛けあえるようにしたこと、そして当センターの職員が演奏に加わりダンスを披露したことは、初めての試みです。

められ、演奏者と利用者様の思いが伝わる特別なコンサートだったと感じました。演奏者の方には映像で利用者様の姿が映った時に、込み上げてくる感情を抑えきれなかったとのエピソードを聞いて、心熱くなる思いがしました。利用者様・職員・ANA Team HND Orchestraの皆様ご協力ありがとうございました。

(療育部 清水 信夫)

ANA Team HND Orchestra (通称・ハネオケ)は東日本大震災の復興を祈念し、数名の有志で発足したオーケストラです。今や全国にファンを持つオーケストラに成長したのですが、今回島田療育センターとのコンサートを行うにあたり「原点回帰の思いで一生懸命に演奏させていただきます」と連絡をいただきました。センターから送られている声援にも気持ちが込



2022年度

地域療育等支援事業 実施報告

本事業は東京都からの委託事業で、地域で療育的な指導や相談を受けられることを目的に実施しています。ご利用いただけるのは、自宅等で暮らしている発達上のご心配や障害をお持ちの本人・ご家族に加え、ご本人の通所施設も対象となります。2022年度の実施状況は、新型コロナウイルス感染症の蔓延以前と比べると減少していますが、年々回復傾向にあります。

【外来療育等指導事業・訪問療育等指導事業】

発達上のご心配や障害のあるご本人・ご家族に対し、専門職が当センター内外でご相談に応じています。“外来療育等指導事業”では、2022年度より「子育てひろば」と題した保護者のグループ指導を開始し、子育てや療育等のご相談に応じています。

“訪問療育等指導事業”は、外出が困難な方や自宅での指導が必要な方に対し、専門職がご自宅等を訪問し各種ご相談に応じています。その他、外部公共機関での講習会としてOT、ST、心理による「家族向け発達支援講座」を企画し、2022年度は、OT主催で“かくこと”、“縄跳び”、“親子でのからだ遊び(感覚)”について、ST主催で“ことばの発達”、“吃音”について、心理主催で“ミニペアレントトレーニング”、“思春期の親子の関わり”について、全8回の講義を行ない、事前質問に対して回答しました。今年度も様々なテーマで8回程度の講義を企画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。訪問による家庭での個別相談は年間9件あり、在宅支援の見直しが必要な方々や、諸事情により専門職の介入や相談が必要な方々に対応しました。外出が困難であっても直接専門職の相談を受けられる機会があることで、少しでもご家庭の安心に繋がれると思います(表①②)。ご利用者の在住市は、多摩市に次いで日野市が多く、八王子市の方々にも多くご利用いただきました(表③)。

【施設支援一般指導事業(施設支援)】

発達上のご心配や障害のある方に対応されている地域の通所施設の職員様のご相談に応じています。スタッフが施設へ出向く訪問相談と、施設の方に当センターへお越しいただく来所相談の方法があります。感染拡大期間中に限りオンライン対応も認められ、昨年度は57カ所の施設に対し、延べ88件のご相談に応じました(表④・図①)。対応した職種は、心理、ST、OTの順で多く(表⑤)、ご相談内容は、発達全般からコミュニケーション、集団場面での対応、ことばや口腔機能の発達、運動機能や姿勢・体幹に関する事等、多岐に渡りました。訪問して現状を直接拝見し、職員の方々からも普段の様子をお聞きすることで、其々の対象児(者)

や環境に合わせた工夫や支援方法を職員の方々と共に検討することができます。また、お伝えした内容を職員の方々やご本人、保護者の方々と共有いただき、更には他のご利用者やクラス運営にご活用くださることで、職員のスキルアップ等、“その後につながる支援”となればと願っております。外来療育等指導事業・訪問療育等指導事業(表②)並びに、施設支援(表④)においても利用施設の6割は保育園・幼稚園であり、低年齢の方々に関するご相談が多くなっています。

今年の5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類に変更され、コロナ前の日常に戻りつつあるところもあるかと思いますが、この3年間の特異な生活が子どもたちや人々、地域に及ぼした影響は大きいと感じています。そこから生じた複雑な課題や困りごとに対しても、引き続き丁寧に対応していく所存です。本事業のご利用方法等については、ホームページ等をご確認ください。お電話でもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせください。
(支援部 市川 香織)

表1 療育相談・訪問相談の対応職種延べ数(人)

	医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
療育相談	1	6	3	7	7	7	5	0
訪問相談	1	0	2	6	5	6	7	0

表2 療育相談・訪問の対象児(者)年齢(件)

0-2歳	11
3歳	年少児 18
4歳	年中児 18
5歳	年長児 21
6-8歳	小学校低学年 30
9-11歳	小学校高学年 6
12-14歳	中学生 11
15-17歳	高校生 1
18歳以上	2
合計	118

表3 療育相談・訪問の対象児(者)在住市(件)

多摩	八王子	町田	稲城	日野	その他	合計
37	24	9	11	30	7	118

表5 施設支援一般指導事業の派遣職種延べ数(人)

医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
3	3	9	14	28	35	65	0

表4 施設支援一般指導事業の実施数(施設種別・市別毎)
実:実施施設数、延:延べ実施数(件)

	多摩市		八王子市		町田市		稲城市		日野市		その他		合計
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	
特別支援学校	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
保育園	15	24	4	7	4	6	1	1	2	5	0	0	26
幼稚園	4	7	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	8
小学校	5	6	4	10	2	6	2	2	1	1	2	2	16
中学校	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障害児(者)機関	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	3
その他(学童舎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	39	12	21	10	16	4	4	3	6	2	2	57

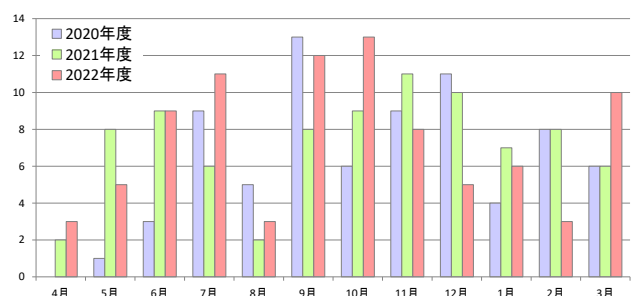


図1 施設支援一般指導事業の月毎の実施数の分布(施設)

2023年度

新職員オリエンテーションを実施しました

4月3日(月)多摩9名、はちおうじ4名の新入職員を迎えることができました。皆さん一様に緊張と期待の表情で河理事長から辞令の交付を受けておりました。



辞令交付のあとは中途採用の方を含めて27名がオリエンテーションを受講しました。島田療育センターの組織など全体研修2日間と、各部署の職員が講師となる専門的な研修5日間、4月3日～4月11日までの合計7日間にわたり受講してもらいました。

オリエンテーションが終わるとそれぞれが自分の配属先へと別れて業務にあたります。同期と集まる機会は減りますが相談や情報共有などで横のつながりを持ち続けてほしいと思います。今後は現場で多くの事を学び吸収してレベルアップできるよう、職場全体でサポートしていきます。(庶務科長 駒場 直子)



虐待防止研修を実施しました

2022年度も感染症対策のため、WEB視聴による研修となりました。全職員対象で、受講期間は3月8日～3月30日でした。①虐待防止チェックリスト結果報告2017～2022、②「倫理の基本～医療機関においてとめられる倫理的な行動～」の2つを視聴後、各自講座内のテスト問題とアンケートに回答して受講終了となりました。また、4月1日～4月30日の期間、各部署にて『素敵なマナーや関わりを見つけましょう』に取り組んでもらいました。(MAPCAP委員 宮田 雅美)



見つけた出来事はこのように共有しました。

お知らせコーナー



2023年度 家族向け発達支援講座

発達が気になるお子さんを理解し、育ちを支えるためのシリーズ講座です。

詳しくはホームページをご参照ください



スマートフォンの方はこちらから

地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)

費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

3面にて、当事業の実施報告を掲載しています。

季節の彩り



季節や行事に合わせて、センターの一画に彩を添えてくれる装飾の数々があります。近隣にお住いの方が、1年前よりボランティアで装飾を届けてくださっています。可愛らしく、工夫を凝らされた作品には製作者の愛情が込められていることがヒシヒシと伝わってきます。療育部前の作品達に会いに来ませんか？

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログほしけ



フェイスブック

